

噫正誌ナケク 長吁ナケク 吁正 噪ナケク 呻ナケク 啞ナケク 〔同六〕慨音鑑ナケク 〔同九〕歎音鑑ナケク

音虛ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク

〔伊呂波字類抄辭奈字〕歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク

慨 悵 唉 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク

〔運歩色葉集那〕歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 歎音鑑ナケク

〔書言字考節用集八〕懔音鑑ナケク 懔音鑑ナケク 懔音鑑ナケク 懔音鑑ナケク 懔音鑑ナケク 懔音鑑ナケク 懔音鑑ナケク 懔音鑑ナケク 懔音鑑ナケク 懔音鑑ナケク

〔遊仙窟〕嗟音鑑ナケク 運命之迍音鑑 歎音鑑ナケク 鄉關之渺音鑑 邈音鑑ナケク 歎音鑑ナケク 慨音鑑ナケク

〔日本靈異記中〕孤孃女憑敬觀音銅像示奇表得現報緣第卅四中略

嗟音鑑ナケク 嗟音鑑ナケク 嗟音鑑ナケク 嗟音鑑ナケク 嗟音鑑ナケク 嗟音鑑ナケク 嗟音鑑ナケク 嗟音鑑ナケク 嗟音鑑ナケク 嗟音鑑ナケク

〔倭訓栞前編十九〕なげき 嘆をよめり、靈異記に嗟、新撰字鏡に悵をなげくとよめり、長息の義也

長大息といふが如し、よて嘆息ともいへり、歎息はためいきをつく事也中略 伊勢物語に、花にお

かぬなげきなどいへるは、愁嘆にあらす、稱嘆の意也といへり、さるを歎を俗になげくと心得る

は誤也といへるは、哀嘆のことのみを覺えて、和語の本意を辨へざる説也、

〔新撰字鏡小〕悵於高反、去、懣也、強也、心不服也、 悵伊於太彌、又奈介支、 悵伊於太彌、又奈介支、 悵伊於太彌、又奈介支、

悵伊於太彌、又奈介支、 悵伊於太彌、又奈介支、 悵伊於太彌、又奈介支、 悵伊於太彌、又奈介支、 悵伊於太彌、又奈介支、

〔類聚名義抄六〕悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク

悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク

悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク 悵正病ナケク

〔伊呂波字類抄人事〕悵伊於太彌、又奈介支、 悵伊於太彌、又奈介支、 悵伊於太彌、又奈介支、 悵伊於太彌、又奈介支、 悵伊於太彌、又奈介支、

悵伊於太彌、又奈介支、 悵伊於太彌、又奈介支、 悵伊於太彌、又奈介支、 悵伊於太彌、又奈介支、 悵伊於太彌、又奈介支、 悵伊於太彌、又奈介支、 悵伊於太彌、又奈介支、 悵伊於太彌、又奈介支、 悵伊於太彌、又奈介支、 悵伊於太彌、又奈介支、